



# 学指通信

授業始めの四か条

## J4 礼の後の「沈黙」の意味

### 先生にとっての J4 とは

授業参加の「確認」の場＝全体を見て授業を進める！

- 🍷 みんなそろっているか
- 🍷 スタートできる構えになっているか

このことは、授業MAP(J3)の入口につながる

準備・構え・礼 → **全体確認の場** → J3へ

### 生徒にとっての J4 とは

① 授業参加の身体訓練(方向感覚を身に付ける)の場

「今は何をやる時？しない時？」

② 授業参加の集団訓練の場

- 🍷 隣の子、大丈夫かな？
- 🍷 今から みんなで頑張ろう！

班長会や合同班長会、生徒会につなげる (クラスを見る窓に)

J4、J3 は、5年前に若手教師により自主的に組織された「若手授業研究会」から提案がなされ、それが共通テーブルとして設定されるようになり、現在に至っています。今では西中の授業づくりにおいてあたり前のフレーズになっていますが、その意味を理解し、実践しているかという、疑問符がつきます。

「聴く」ことの大切さについては1年生の学年開きや、全校生徒集会でかなり集中的に入れ込みがなされ、「聴く」という課題は、学校全体で共通認識されるようになりました。

生徒の具体的活動として、生徒会本部から「J4・聴く」の取り組みを提案し、先生の第一声までしゃべらないで我慢すること(身体訓練)と、班を機能させること(集団訓練)をそのねらいとしました。授業開始を、生徒たちが自分たちの問題として考えられるようにという意図でしたが、職員室で井上雅先生が「これは、われわれ教師こそ意識しないと・・・」とおっしゃったのは、とても的確な指摘だったと思います。この数秒間の空気と関係を大事にすることは、勉強を教える側の立場と、勉強を教わる側の立場の関係性と空気を大事にすることになります。授業を大切にできる生徒や集団をつくるんだという意識を持って授業に臨みたいものです。



(3つの身体訓練・集団訓練の場)

J4・聴く STの開始 集会の入場・整列

